



稲積中だより

学校教育目標 「人間性豊かな生徒の育成」

たくましい心身 豊かな心 高い知性 健全な社会性

令和5年6月20日

第4号

札幌市立稲積中学校

発行

「STORY」

第1学年代表 荒町 恵子

中学校に入学してから、はじめての大きな行事である「校外学習」が、天候にも恵まれ、予定通り行われました。この行事の大きな目標は、炊事を通して、班や学級の団結を深めること。先生たちに頼らず、自分たちの力で活動することでした。

当日は、買い物から炊事まで、本当によく頑張っていたと思います。特に炊事の場面では、火おこしをする人、調理をする人などそれぞれが一生懸命に活動していました。火がなかなかつかず、水が多すぎたり・・・など多少のハプニングはあったものの、どの班も無事に調理することができて、笑顔であふれていました。苦労して作った味はきっと忘れられないものになったと思います。



保護者の皆様には、ごはんを用意していただいたり、調理器具をお借りしたりなど、たくさんご協力いただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

タイトルにある「STORY」は学年スローガンです。子供たちの「STORY」は、始まったばかりです。これからの活躍を楽しみにしています。



タイトルにある「STORY」は学年スローガンです。子供たちの「STORY」は、始まったばかりです。これからの活躍を楽しみにしています。

「校外学習を終えて」

第1学年 生徒

校外学習を終えて自分は班のみんなと協力し、楽しむことができました。ですが、もう少しこうすれば良かったという反省もあります。

良かった部分は、メンバー一人一人が仕事をしていたことです。誰かが仕事をしていないということはなく、自分たちで仕事を見つけてやったり、協力しながらすることができました。

反省点は、テキパキ動くことができませんでした。先生の指示を聞き、動くのが遅かったと朝の出発式が始まる前の集合で、指示どおり動けなかったからです。代表としての仕事は、点呼ができませんでした。結団式の時の点呼は安齋先生に言われてからやったので点呼ができませんでした。当日も、点呼をすることに気付くのが少し遅かったので、これからは、自分が班、学級のリーダーという自覚を持って取り組みたいです。

校外学習で、これから、学級、個人で頑張ることが分かりました。班のみんなの良い所も見つけることができ、とても良かったです。校外学習で見つけた反省点を日常で直してみることはできないかを考えて行動したいです。



「RE. START」

第3学年代表 塚野 太郎

ここ数年、新型コロナウイルス対策をしながらの旅行的行事でしたが、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが「2類相当」から「5類」になったことにより、今年は限りなくコロナ禍以前のような形に戻すことができました。

タイトルにある「RE. START」は今年の学年のスローガンです。「最高学年として初心に戻り、新たに高校（進路）に向かってスタートしていく」というものですが、コロナ禍を乗り越えて通常の生活が再度始まるのだなという、前向きな気持ちにさせられました。

移動の列車内での、席を向かい合わせにし、楽しそうにお菓子を食べながら友人とカードゲームをする姿、食事会場で食事を食べながら談笑する姿。かつての修学旅行を知る者からするとごく当たり前の光景ながら、コロナ禍を経て見ると感慨深かったです。

また、子ども達も「RE. START」を意識し、一人一人が自分の仕事に責任を持って行動しようと頑張っていました。空いている時間に友人たちとしおりを確認し合う姿や、学級ミーティングで今日よりも明日をより良くしようと真剣に参加する姿は大変立派でした。

帰着後、子ども達からは「楽しかった。」「次は実際にお祭りに参加して動いてる立佞武多を見たい。」「きりたんぽが意外と美味しかったです。」などと、楽しそうに話す姿を多く見ることができました。学年として良い「RE. START」が切れた修学旅行になったと思います。



「修学旅行を終えて」

第3学年 生徒

私は修学旅行を終えて多くの思い出を作り、そして、団体として成長できたと思います。なぜなら、体験学習や移動時間、ホテルなどの様々な場合で、友人はもちろん、班の人達との交流で思い出を作れたからです。三年生になってすぐの修学旅行でしたが、班の人達と打ち解けられたのではないかと思います。団体としては、それこそ出発前、先生方に不安に思われていました。ですが、時間を重ねるにつれ、点呼をスムーズにできるようになり、1人1人の頑張りもあります、やはり学級代表・班長の力がとても大きかったと思います。

今回の修学旅行で三年生の最大行事が終わってしまいましたが、修学旅行を通して成長できたところを活かし、さらに成長していけたらいいと思います。

